



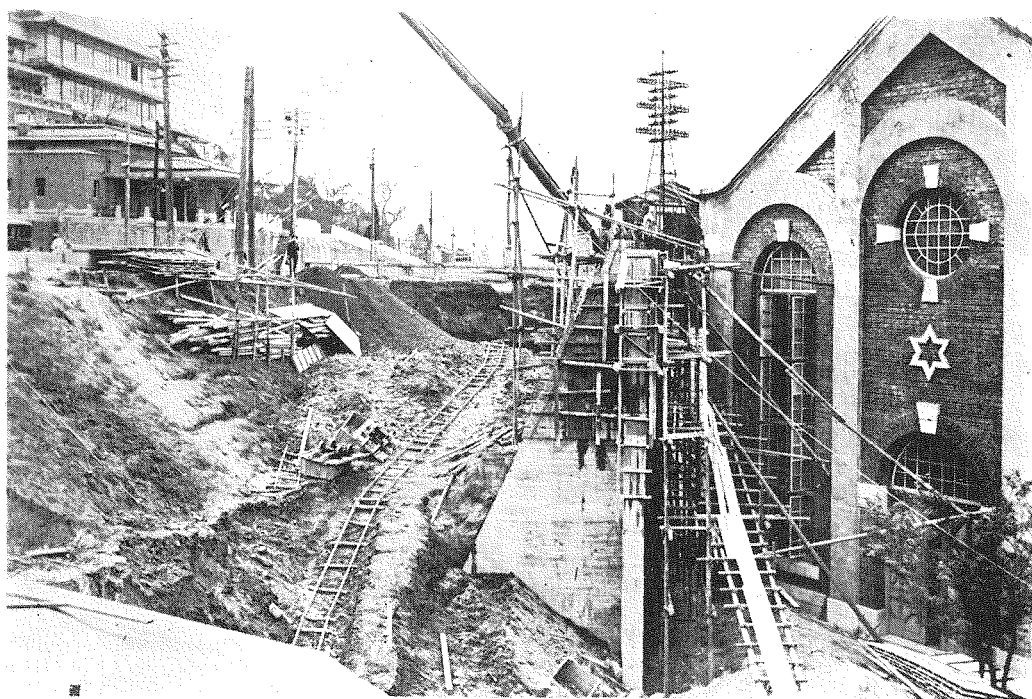
京都都市計畫事業の一

第一寫眞 三條大橋附近の擴張工事
三條通河原町附近は交通の焦點と成つてゐるに從來僅か四五間幅の狹隘な道路であつたので、目下之を八間幅(内歩道兩側一間半宛)に擴張しつゝある。本寫眞は都市工事の暗礁たる地下埋設物整理の現狀である電話線等も全部地下配線としてゐる。

工期 自昭和5年3月

至同年 7月

京都市土木局
都市計畫課長 木村 喬



第2寫眞 三條通蹴上の擁壁工事

都ホテル附近の道路は京浜國道の要路であるのに従來幅員約四間に過ぎなかつたので、一昨年御大典に際し之を十二間幅に擴張したのであるが、其内一部蹴上市電發電所附近は同所構内側に擁築する事と成つたので、目下之が擁壁の工事中なのである。

擁壁、長約30間。最高37.5尺

工費(擁壁だけ)約30,000圓

工期 自昭和5年1月

至 同 年 7 月



第3寫眞 洛北外劃線工事

京都都市計畫事業の特色としては外郊を一周する十五間幅の都市計畫事業街路に沿ふ一帶の地約四百二十五萬坪に區劃整理を施行する事に成つてゐるのであるが、此の寫眞も其内の一部紫野大徳寺附近約 122,000 坪の地區中に延長約 400間の街路を築造してゐる處であつて、今後 3 年間には全延長 10,000間餘が完成される事となつてゐる。